

I 総務部

	評 価 の 観 点	評価
1	校務分掌組織は適切であったか。	4
2	分掌を十分理解して、職務の遂行にあっていたか。	3
3	諸帳簿・文書は適切に処理されたか。	3
4	校舎管理（点検・補修・安全・後始末）は適切であったか。	3
5	特別委員会の日程・日数は適切であったか。	3
6	地域・PTAとの連携は図られたか。	3

- 各分掌に関わって、主任を中心に熱意をもって遂行した。
- 鍵の管理方法を改善し、異状に気づくのが早くなり、紛失もなくなった。
- 体育館の電灯を修理し、すべて点灯するようになった。
- 適応指導委員会は定期的を開催することができた。また、学校評価検討委員会を新設して評価計画を立案し、実施することができた。
- PTA活動に関しては、南中祭、神輿等については各専門部、地区に多大なる協力をしていただき、予定どおり実施できた。
- 地区懇談会への参加率向上のために、案内を2回出し、1回目に取り上げてほしい話題を調査したうえで開催した。昨年度より参加者が約30名増えた。
- 保護者の学校に対する評価は、昨年度と比較して肯定的な評価が増えた。
  
- 外部提出文書等で、期限ぎりぎりになり、点検が不十分になったり、遅延があったりした。
- 月に一度の施設点検について、提出が遅れがちになってきた。
- トイレの上下に開閉する窓の改善を要望していきたい。
- 就学指導委員会や研究推進委員会については、タイムリーに開催できるよう改善していく必要がある。
- 部活動と父母会・スポ少練習を区分けするということを提案したが、父母会により対応に差が生じた。職員間の情報共有を密にする必要があった。

## II 教務部

	評 価 の 観 点	評価
1	年間行事計画は適切であったか。	4
2	各分掌、各学年との連携を密にし、教育活動が円滑に推進されているか。	4
3	時間割の調整と授業時数の確保は適切であったか。	3
4	基礎的・基本的な内容の定着と基礎学力の向上に努めたか。	4
5	指導と評価の一体化を図った授業改善に努めたか。	3
6	家庭・地域・関係諸機関との連携を深める教育活動を推進できたか。	4

- 行事については昨年度の反省や先生方の意見を聞き、ねらいやもち方の改善を行った。
  - 学年PTA行事や説明会等を設定することができた。さらにPTAとの協力関係を築くための活動を推進していかなければならない。
  - 職員会議や週報、週2回の職員打ち合わせ、学年長がそろっての打ち合わせ等で職員全体の連携がうまくいくように配慮できた。
  - 昨年度のようなインフルエンザによる学校閉鎖がなく、全体の標準授業時数については順調に実施できた。
  - 臨時時程（45分）をなるべく少なくし、普通授業（50分）の確保に努めた。また、自習が少なくなるように時間割を調整してきた。
  - 「まなびフェスト」は教育目標との整合性を配慮して作成し、目標の達成に向けて教師も生徒も努力する姿勢が見られた。
  - 授業についても年々落ち着きを取り戻しており、本校の研究主題に沿って授業改善に向け工夫して取り組まれている。
- 行事については、計画に振り回されたり、ただ消化していたりということにならないように、ねらいを明確にして、その過程を重視することを重点とした。学校として重視する教育活動を確認し、さらなる行事の精選を図りたい。
  - 10月の学習定着度状況調査の結果を見て、定着率の悪い領域（内容）については、その指導法等に工夫を加え、基礎学力の定着に向けた取り組みを強化していく必要がある。
  - 小中の連携については、2月の体験入学、保護者説明会や3月の新入生テスト、6年生の引き継ぎ等スムーズに進めることができるようにしたい。

### Ⅲ 生徒指導部

	評 価 の 観 点	評価
1	学級や生徒会活動を活発にし、一人ひとりが所属感や達成感をもてるような指導がなされたか。	3
2	部活動や体育的行事において、目標をもって取り組む生徒の育成が図られたか。	4
3	奉仕活動などの地域の活動に進んで取り組む生徒の育成に努めたか。	4
4	生徒とのふれあいを大切にし、生徒理解に努めたか。	3
5	基本的な生活習慣が定着し、社会規範を守る態度の育成が図られたか。	2
6	教師間の共通理解を図りながら、問題行動の早期発見・早期指導がなされたか。	3
7	週目標が意識され、意欲的な実践に結びつけられたか。	2

- 学級や全校での話し合いの場の設定や南中祭では、学年学級の役割分担により責任と所属感をもたせられた。
- 定例部長会や活動の掲示、大会に向けた目標の垂れ幕などの掲示がきちんとできた。陸上大会や駅伝大会などに向けた練習への参加数も多く、前向きな姿勢が見られた。
- 専門委員会の取り組みや校外生徒会の取り組みで活動を設定することができた。特にイーハトーブ委員会の活動が全校を引っ張った。
- 学校生活全般において、教師が生徒とともに活動している場面が多く見られた。また、生活記録ノートなども活用し、生徒理解に努めるとともに、学習相談期間を利用して一人ひとりの考えや悩みを聞き取ることができた。
- 1年生の自転車への破損が多発し、2学期から自転車置き場を移動させたところ、発生しなくなった。また、他学年でも靴や傘に対するいたずらや盗難が数件あった。このような問題行動に対して、早期対応はしてきたが、生徒への指導が浸透しない面もあった。
- 週目標を具体的に意識させるような手立てが不足していた。

## IV 管理部

### 1 管理関係

	評 価 の 観 点	評価
1	校舎内外の環境整備・美化が図られたか。	3
2	施設・設備・備品等の整理整頓がなされたか。	3
3	安全点検の日が確実に行われたか。	3
4	破損個所が速やかに修理されたか。	4

- 修理・修繕等が速やかに行われた。ガラス等の破損も減少した。
- 職員室、印刷室、更衣室の整理整頓がなかなか改善されなかった。
- 印刷機や放送機器の修繕が続き、予算が不足した。

### 2 備品整理関係

	評 価 の 観 点	評価
1	教材・教具の点検は計画的に行われたか。	2
2	備品の計画的な購入が図られたか。	3
3	備品購入後、全員に周知・伝達がなされたか。	3
4	備品の適切な保管・管理がなされたか。	3

- 管理備品の配当予算はなかったが、楽器購入は早めに進めることができた。
- 教材備品、消耗品を要望に沿って購入したので、積極的かつ有効に活用してほしい。

### 3 庶務・経理関係

	評 価 の 観 点	評価
1	文書事務処理が円滑に行われたか。	3
2	過年度文書の整理・廃棄は適切に行われたか。	3
3	各種報告書は遅滞なく処理されたか。	4
4	福利厚生の手続きは適正に行われたか。	4
5	予算執行は、適正に行われたか。	4
6	学籍等の手続きは適正に行われたか。	4

- 文書については、おおむね円滑に処理できた。
- 予算については適正に執行した。
- 集金の滞納家庭には督促状、職員にはその状況を毎月周知した。全体の件数は減ったが、長期滞納が増えており、今後の行事に係る費用等の不足が心配である。